

あたらしい絵本

No. 509 2025. 8. 17



『ごはん』 こが ようこ／ぶん・え

・うつわの上の、ほかほかおいしそうな、しらす入りごはん。「あ、しらすさんがいっぱい」と読んで、絵を指さしてあげると、あかちゃんはとっても嬉しそう! 読むだけで語りかけられる絵本。語りかけのヒントも掲載する。
(幼0～2歳)



『ねむたいよう』 岡田 千晶／絵

・みーちゃんは、もう寝る時間です。でも「まだねむくない」と言います。するとお母さんは「おててやあんよはどうかしら?」と言って、「おててさん、おててさん、おててさんもねむたくないの?」と問いかけ…。 (幼0～2歳)



『パンダおやすみたいそう』 いりやま さとし／作

・腰をおろして足を前にのばし、右手と左手をゆっくりゆらゆら。両手でひざをかかえて後ろに、前に、ごろーん、ごろーん…。おやすみ前に体と心を落ちつかせる、やさしいたいそう。「パンダたいそう」シリーズ第9弾。
(幼0～5歳)



『おちにきませんか』 こみね ゆら／作

・レモンの木が目印のおうちでお茶会が開かれます。おとなりの3人姉妹がやってきて、お茶会を始めようとする、お父さんが棚の後ろに小さなドアを見つけました。ドアの向こうにはお庭があって…。 (幼0～5歳)



『ジョナサンいいかげんにして!』 トミー・ウンゲラー／え

・いたずらが大好きで、やんちゃなジョナサン。あきれはてたパパとママは、医師のキャロザー先生に相談にいくことに。すると先生の診断は…? 等身大の子ども姿を描いた絵本。 (幼0～5歳)



『みちひきみちかけ』 ミロコマチコ／作

・世界はみんなつながっている。月は満ち、欠け、潮は満ち、引く。いきものは生まれ、食べ、増え、減り、また生まれる…。南の島に移り住んで得た新境地で、尊い自然そのものをダイナミックに描く。 (幼0～5歳)



『ふなでだ、ホイ!』 ソフィー・ブラッコール／さく

・おうちの中だけれど、帆を張り、いかりを上げて、いざ海の冒険へ! 「じゅうたんにそうじ機をかけたんだけど」というおうちの人も巻きこんで、嵐にあい、オオイカに襲われ…? 「ごっこ遊び」の楽しさを存分に描く絵本。
(幼0～5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



『100匹つながひき』 矢野 アケミ／作・絵

・ある日、虫たちのもつにつなひき大会の招待状が届きました。集まった虫の数はなんと100匹。赤組と白組にわかれて、100匹つながひきが始まります。オーエス、オーエス! 虫たちが力いっぱい、つなをひっぱると…。
(幼3～5歳)



『ならしている』 五味 太郎／作

・トライアングル、マラカス、なべ、花火、木琴、のこぎり、花瓶…。ペンギンたちが色んなものをならしています。こっちでも、そっちでも。おもいおもいに、きままに。すると…。
(幼3～5歳)



『とっきうれっしゃがやってくる!』 鎌田 歩／作

・特急列車に乗って、お母さんとおでかけする女の子。駅は多くの人の声やにぎやかな音であふれている。特急列車は、お客を迎えに、車輪の音を響かせながら走り…。にぎわう駅と、やってくる列車を、左右のページで同時に描く。
(幼3～5歳)



『うさぎのしま』 近藤 えり、たての ひろし／作

・「うさぎのしま」として親しまれる広島県・大久野島。白うさぎを見た子どもの「あの子のおかあさんも、白い?」という問いが、封印された過去を呼び覚ます…。毒ガスを製造し、「地図から消された島」の過去と今をつなぐ物語。
(幼0～5歳、小初)



『じゃないものさがし』 中垣 ゆたか／作

・めがねじゃないものは、どれだ? ぼうしじゃないものは、どれだ? おすしじゃないものは、どれだ? いろんな“じゃないもの”を見つけよう! 見つけると笑っちゃうさがし絵本。
(幼3～5歳、小初)



『おとしものあずかりしょ』 渋谷 純子／ぶん・え

・「おとしものあずかりしょ」で働いているイヌのムッシュ・ガトー。ネコくんは、なくしたというマフラーを巻いてあげると、ネコくんはライオンに大変身! 様々な動物たちが、おとしものを見つけて意外な動物に変身する絵本。
(幼3～5歳、小初)



『くだものはな? なんのはな?』 網野 文絵／写真

・まつぼっくりみたいな花、とげとげした花、時計みたいな花。くだものの花だよ、なんの花? くだものは、お花のどこが大きくなった? 科学の目でみると、驚きがいっぱい! 知る楽しさに出会える、クイズ形式の科学絵本。
(幼3～5歳、小初)



『すずめばち』 館野 鴻／作

・たった1頭で巣をつくり、力尽きるまで卵を産み続けるすずめばちの女王と、あまたの幼虫を世話したり、何度も狩りに出かけたり、巣を必死で守る働きばち。自然の中を懸命に生きる、きいろすずめばちの生命の輝きを描く。
(幼3～5歳、小初、小中)